

令和元年度のセンター研究

秋田県総合教育センターは、基本研究課題「未来を創る子どもに『生きる力』を育む学校教育の創造」に基づき、国や県の動向を見定めながら、喫緊の教育課題の解決に取り組む手掛かりとなる具体的な提案をします。発表は開会式に引き続き行います。

発表会場：秋田県総合教育センター 講堂

日時：令和2年2月6日(木)

センター研究の概要説明 13：15～13：20

センター研究1～3発表 13：20～14：35(質疑応答を含みます)

センター研究 1

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業づくり（2年計画・2年次）

「1年次の研究で作成したAkitaractive Eyeを修正し公開すること」、「具体例を知りたいという声に対応し、Akitaractive Eye教科編を作成し公開すること」、「Akitaractive Eye授業づくりカード、Akitaractive Eye 授業評価シートの活用方法を提案すること」、「提案した活用方法と、教員育成指標に示された教科等指導力に関する資質能力の向上との関連について検証すること」の4点について研究を進め、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業づくりにAkitaractive Eye等を活用することを提案します。

センター研究 2

論理的思考力を育む小学校プログラミング教育の在り方（2年計画・2年次）

これまでに作成した学習活動例の中から算数科と理科について研究協力校で実践し、学習活動中の児童の様子や児童への事前事後のアンケート、教員への事後アンケートから児童の思考状況について検証、整理します。そして、プログラミング的思考の五つの要素を盛り込んだ学習活動例の有用性を探るとともに、プログラミング的思考を育むための指導の留意点やプログラミング教育を進める際のポイントを明らかにし、小学校プログラミング教育の在り方を提案します。

センター研究 3

感情制御に関する問題行動への対応における留意点の整理（2年計画・2年次）

感情制御に関する問題行動の仮想事例を作成して、仮想事例を用いたアセスメントを行う研修を実施します。このことにより、実感を伴った理解を図るとともに、アセスメントを行う際は協働的な活動とすることで参加者間の共通理解を深め、集団・組織としての力量向上を目指します。この研修の有効性の検証を進め、校内研修等における活用を提案します。